

Ⅱ 調査結果

2. 1 くらしについて

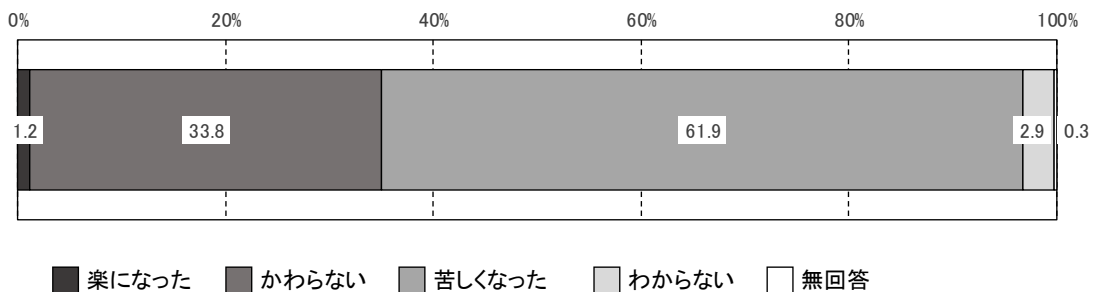
問1 くらしの前年比較

問1 あなたやあなたの家庭のくらし向き（家計など）は、去年の今頃と比べてどうですか。
（1つだけ）

全体（図 1-1）でみると、「苦しくなった」が 61.9%と最も高く、次いで「かわらない」（33.8%）、「わからない」（2.9%）、「楽になった」（1.2%）の順となっている。

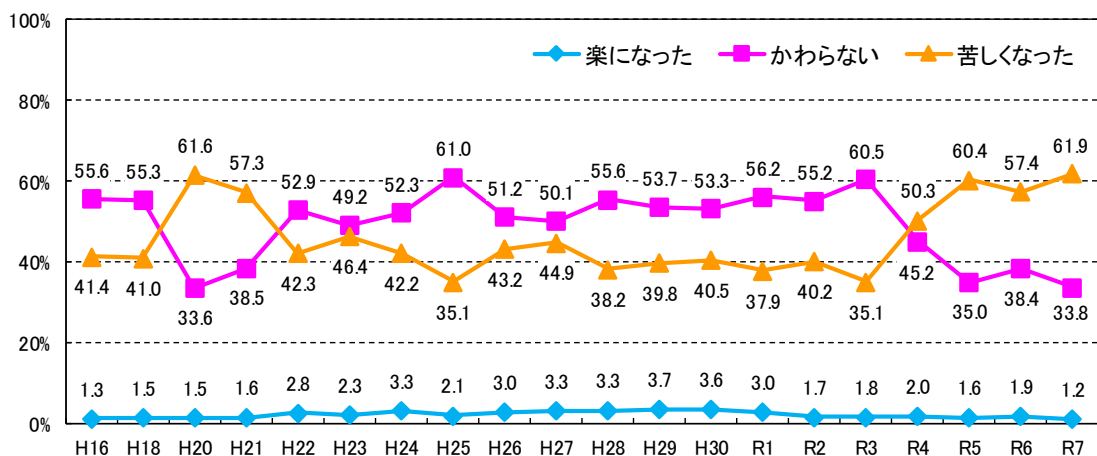
図 1-1 くらしの前年比較

回答者数(n = 1,644)



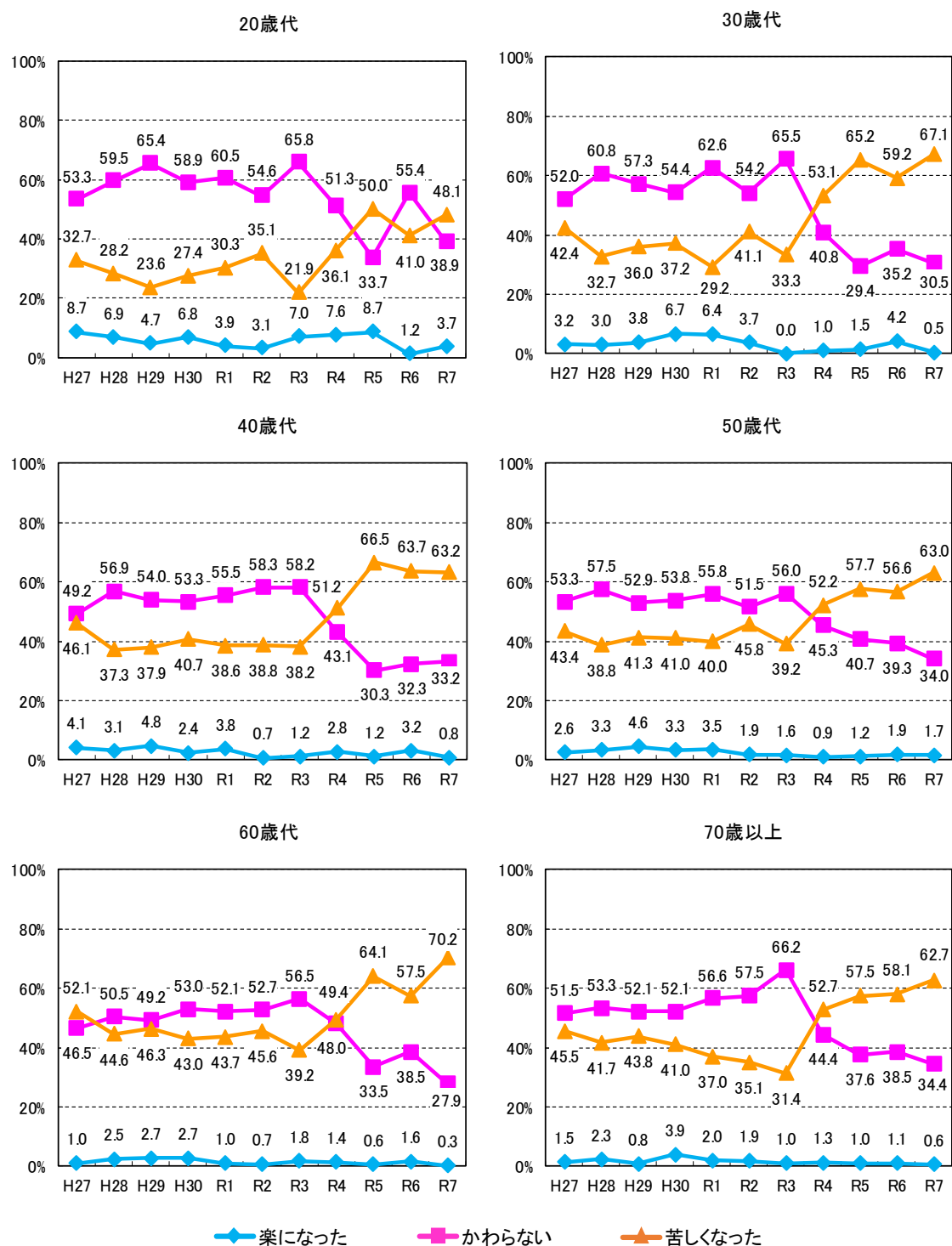
経年変化（図 1-2）でみると、平成 22 年から令和 3 年までは一貫して「かわらない」が最も高くなっていたが、令和 4 年から「苦しくなった」が「かわらない」を上回った。令和 7 年では、前年に比べて「苦しくなった」が 4.5 ポイント増加している。

図 1-2 【経年変化】くらしの前年比較



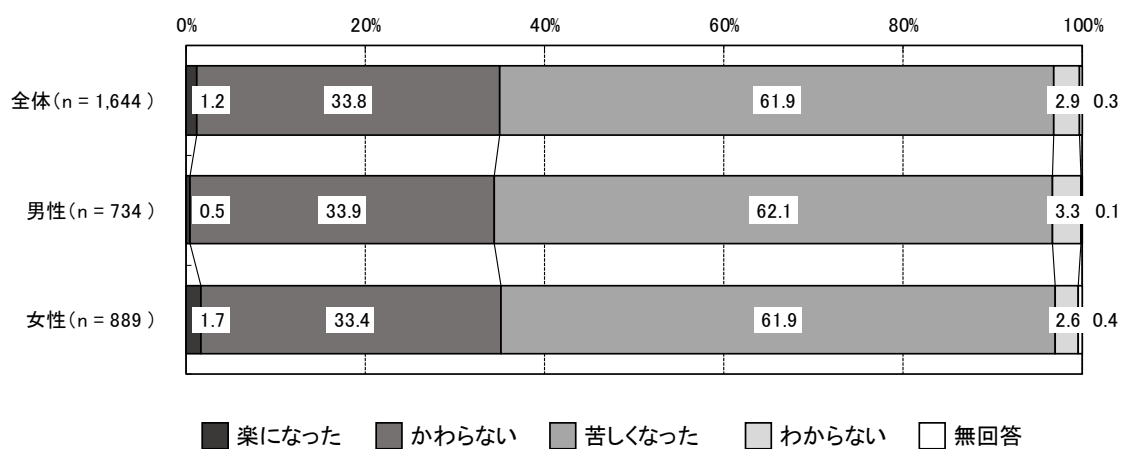
年代別の経年変化（図 1-3）でみると、令和 4 年以降、20 歳代を除くいずれの年代においても「苦しくなった」が「かわらない」を上回っている。令和 7 年では、20 歳代で前年に比べて「かわらない」が 16.5 ポイント減少し、「苦しくなった」と入れ替わった。

図 1-3 【経年変化(年代別)】 暮らしの前年比較



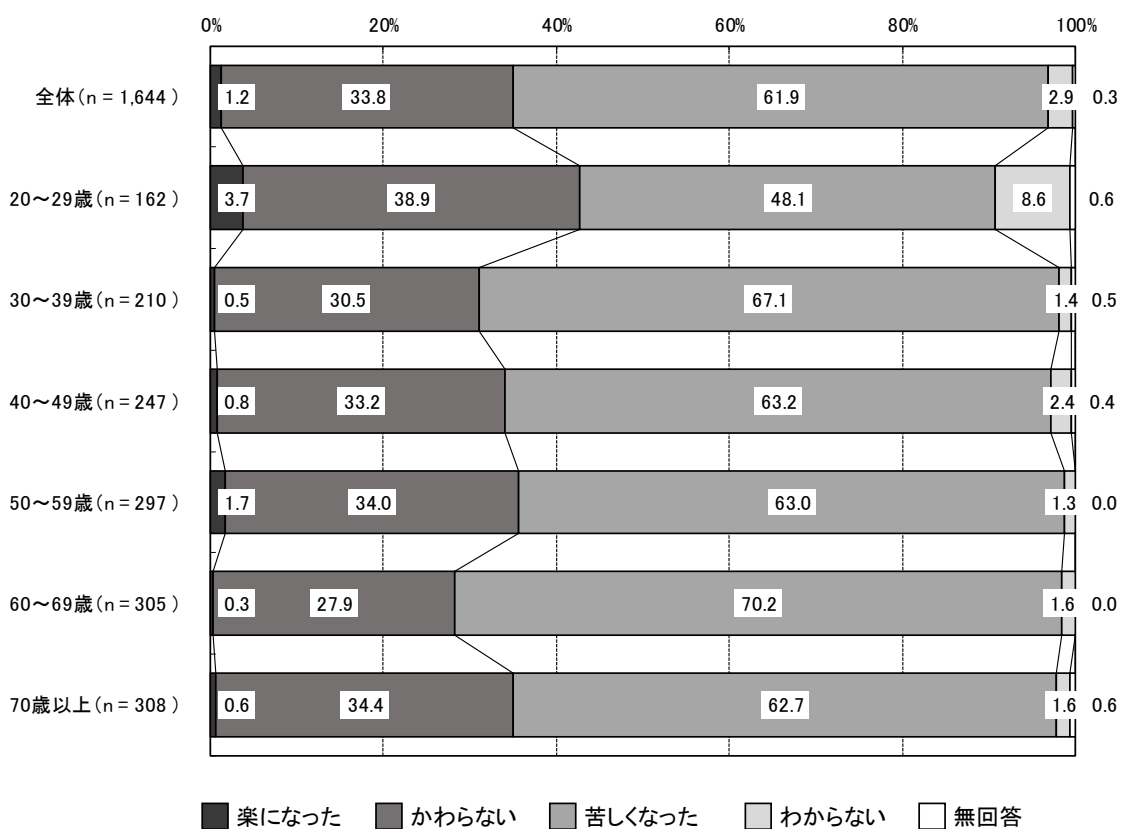
性別（図 1-4）でみると、男女ともに「苦しくなった」が最も高く、男性が 62.1%、女性が 61.9%となっており、性別間での差はみられなかった。

図 1-4 【性別】くらしの前年比較



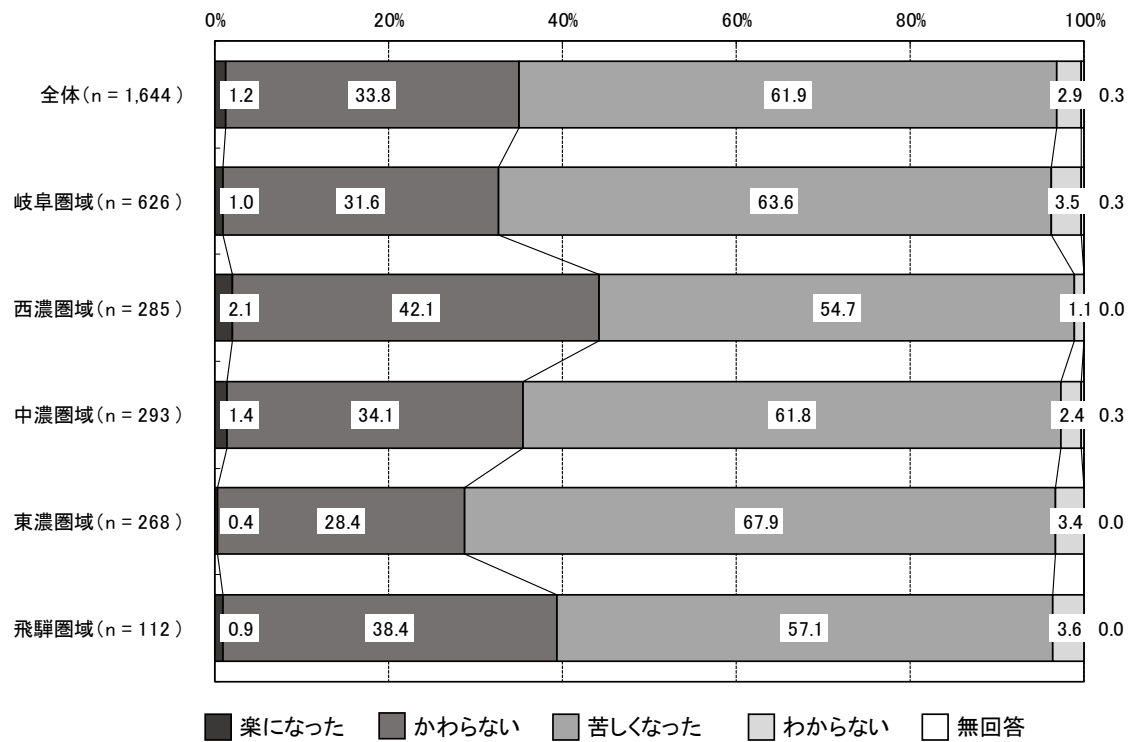
年代別（図 1-5）でみると、いずれの年代においても「苦しくなった」が最も高く、そのうち 60 歳代が 70.2%と最も高くなっている。一方、「かわらない」は、20 歳代が 38.9%と最も高くなっている。

図 1-5 【年代別】くらしの前年比較



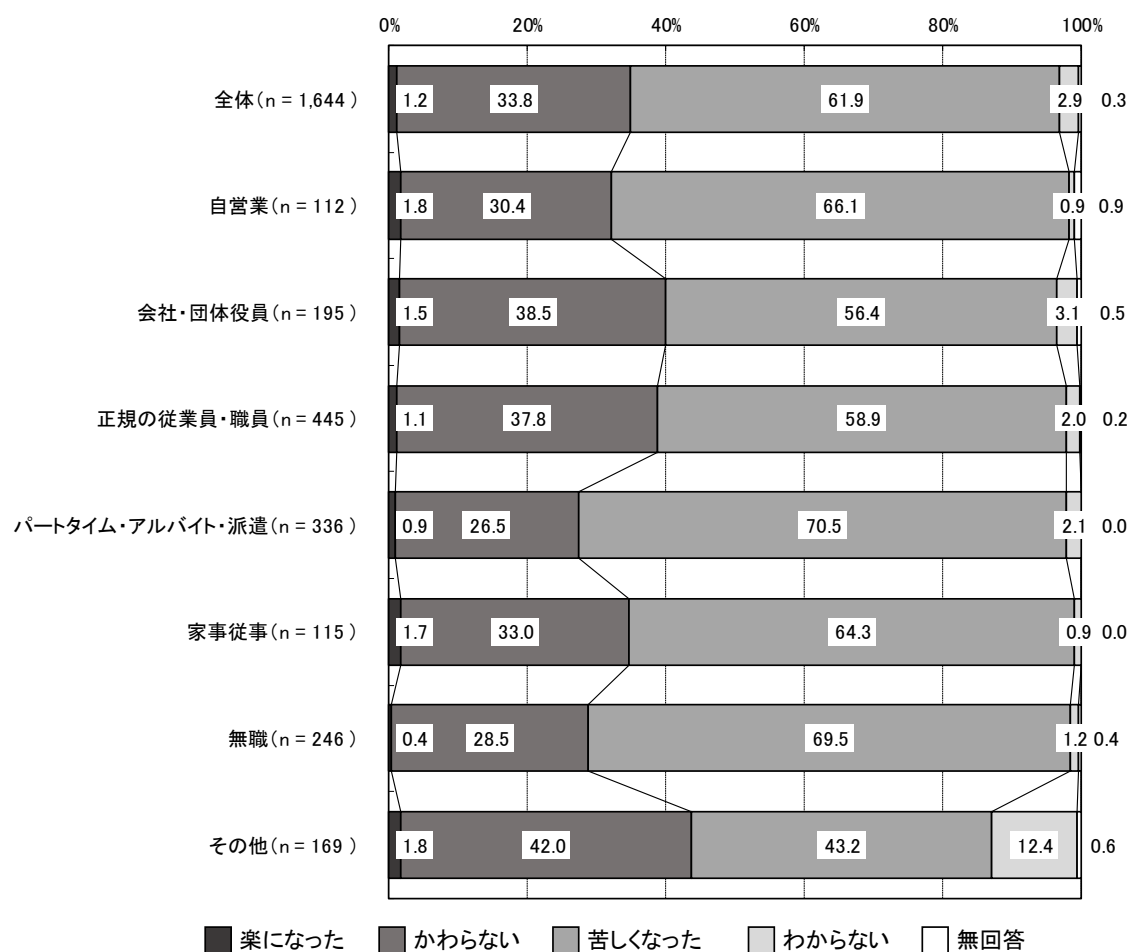
居住圏域別（図 1-6）でみると、いずれの居住圏域においても「苦しくなった」が最も高く、そのうち東濃圏域が 67.9%と最も高くなっている。

図 1-6 【居住圏域別】くらしの前年比較



職業別（図 1-7）でみると、いずれの職業においても「苦しくなった」が最も高く、パートタイム・アルバイト・派遣では70.5%と最も高くなっている。

図 1-7 【職業別】くらしの前年比較



※ その他には、自由業、学生を含む。